

労働力調査（詳細集計）2019年（令和元年）平均（速報）

～ 結果のポイント ～

- 1 2019年平均の役員を除く雇用者数5660万人のうち、正規の職員・従業員数は3494万人と、前年に比べ18万人増加。非正規の職員・従業員数は2165万人と、45万人増加。

非正規の職員・従業員について、男女別に現職の雇用形態についた主な理由をみると、男女共に「自分の都合のよい時間に働きたいから」が最も多く、男性は前年に比べ16万人増加、女性は11万人増加

- ・ 現職の雇用形態についた主な理由で多いものをみると、

男性の非正規の職員・従業員数691万人

「自分の都合のよい時間に働きたいから」・・・187万人（29.3%）と、16万人増加

「正規の職員・従業員の仕事がないから」・・・115万人（18.0%）と、12万人減少

女性の非正規の職員・従業員数1475万人

「自分の都合のよい時間に働きたいから」・・・438万人（31.2%）と、11万人増加

「家計の補助・学費等を得たいから」・・・307万人（21.9%）と、5万人減少

注）「役員を除く雇用者」とは、正規の職員・従業員と非正規の職員・従業員を合計した者

（→「本文」1，3ページ）

- 2 2019年平均の失業者数は182万人と、前年に比べ2万人減少。このうち失業期間が「1年以上」の者は53万人と、2万人減少

- ・ 失業者を失業期間別にみると、

「3か月未満」・・・73万人と、前年と同数

「3か月以上」・・・105万人と、3万人減少

うち「1年以上」・・・53万人と、2万人減少

注）「失業者」とは、就業しておらず、1か月以内に求職活動を行っており、すぐに就業できる者

（→「本文」7ページ）

- 3 2019年平均の非労働力人口は4173万人と、前年に比べ67万人減少。このうち就業希望者数は330万人と、1万人減少

- ・ 就業希望者を男女別にみると、

男性・・・99万人と、6万人増加

女性・・・231万人と、6万人減少

- ・ 就業希望者の非求職理由をみると、

「適当な仕事がありそうにない」・・・96万人と、1万人増加

「出産・育児のため」・・・70万人と、6万人減少

「健康上の理由のため」・・・66万人と、5万人増加

注）「就業希望者」とは、就業を希望しているが、求職活動をしていない者

（→「本文」8ページ）

- 4 2019年平均の就業者数 6715 万人のうち、追加就労希望就業者数は 182 万人と、前年に比べ 1 万人減少。非労働力人口 4173 万人のうち、潜在労働力人口は 39 万人と、2 万人増加。
最も包括的に未活用労働を捉えた未活用労働指標 4（LU4）は 5.8%と、0.1 ポイント低下

注) 1. 「追加就労希望就業者」とは、就業時間が週 35 時間未満の就業者のうち、就業時間の追加を希望しており、追加できる者
2. 「潜在労働力人口」とは、就業者でも失業者でもない者のうち、
・ 1 か月以内に求職活動を行っており、すぐではないが 2 週間以内に就業できる者（拡張求職者）
・ 1 か月以内に求職活動を行っていないが、就業を希望しており、すぐに就業できる者（就業可能非求職者）

- 未活用労働指標を男女別にみると以下のとおり

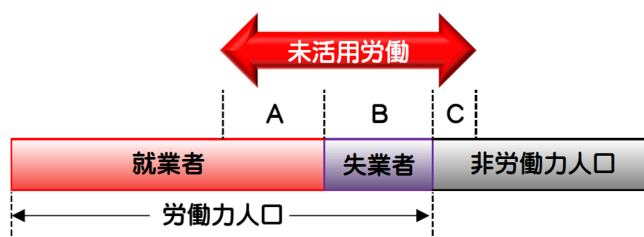
		(%、ポイント)			
		未活用 労働指標 1 (LU1)	未活用 労働指標 2 (LU2)	未活用 労働指標 3 (LU3)	未活用 労働指標 4 (LU4)
実数	男女計	2.6	5.3	3.2	5.8
	男	2.7	4.1	3.0	4.4
	女	2.6	6.8	3.4	7.5
対前 年増 減	男女計	-0.1	-0.1	0.0	-0.1
	男	-0.1	0.0	-0.1	-0.1
	女	0.0	-0.1	0.0	-0.2

(→「本文」9, 10 ページ)

(参考) 未活用労働指標について

雇用情勢をより多角的に把握するため、2018 年（平成 30 年）から複数の未活用労働に関する指標を作成し、四半期ごとに公表することとしました。各指標については以下のとおりです。

詳しくは「未活用労働指標の解説」(<https://www.stat.go.jp/data/roudou/pdf/mikatuyok.pdf>) を御参照ください。



A : 追加就労希望就業者 B : 失業者 C : 潜在労働力人口

- 未活用労働指標 1（LU1）
労働力人口に占める失業者の割合を示す指標です。
- 未活用労働指標 2（LU2）
労働力人口に占める、失業者及び追加就労希望就業者の割合を示す指標です。例えば、パートで働いている女性でフルタイム勤務を希望している者や、生産調整などの会社都合で短時間勤務となっている者などが多い場合は、この指標が高くなります。
- 未活用労働指標 3（LU3）
労働力人口と潜在労働力人口に占める、失業者及び潜在労働力人口の割合を示す指標です。働きたいが仕事を探していない高齢者や、求職を諦めた者などが多い状況では、この指標が高くなります。
- 未活用労働指標 4（LU4）
労働力人口と潜在労働力人口に占める、失業者、追加就労希望就業者及び潜在労働力人口の割合を示す指標であり、未活用労働全体の大きさを示すものです。この指標は、最も広く未活用の労働力を把握するもので、失業者のほか、労働市場で活用可能な者全てを対象とした率ということができます。